

令和8年度 介護職員等スキルアップ研修

※合計 12 時間（全て ①時間：13 時 30 分～15 時 30 分、②場所：レディヤンかすがい 視聴覚・音楽室）

	カリキュラム名	開催日	内 容
1	認知症ケアの「困った」をみんなで考える研修 ～正解探しではなく、理由を考える認知症ケア～ 講師：(有)スイセツ グループホーム木の実り 管理者・愛知県認知症介護指導者 大澤 美奈 氏	7/24(金) ※開講式を行う ため、 <u>13 時 20</u> <u>分</u> までにご参 集ください。	認知症ケアに「困った」「迷った」経験を持ち寄り、正解探しではなく、その理由をみんなで考える参加型研修です。 講義（30分）、グループワーク（90分） ※経験年数でチーム分け
2	「最新の介護技術 移乗・移動・ポジショニング」実技 ～持ち上げない・無理しない・福祉用具を活かす身体介護～ 講師：日本ホームヘルパー協会愛知県支部会長 日本福祉大学社会福祉協議会総合福祉センター兼任講師 社会福祉法人長寿会すまいる研修センター長 荒川 順子 氏	8/28(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現有能力を活かした移乗・移動介助の実技習得 ・ スライディングボードやクッション等の福祉用具の活用方法 ・ 身体的負担を軽減する介助技術とポジショニング技術の習得
3	「最新の介護技術 対応が難しい場面をスムーズにするケア」 ～根拠にもとづいた実践的コミュニケーション技術～ 講師：日本ホームヘルパー協会愛知県支部会長 日本福祉大学社会福祉協議会総合福祉センター兼任講師 社会福祉法人長寿会すまいる研修センター長 荒川 順子 氏	9/18(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ICF の理解と活用方法」（講義 60 分） ・ 「実践的コミュニケーション技術」（グループワーク 60 分） ・ 帰宅の訴え入浴拒否に対するアプローチ法などケアで対応に困っている事例検討
4	「認知症ケアを「伝え、育てるための実践研修」 ～現場の困りごとを学びに変える指導と関わり方～ 講師：社会福法人等生会特別養護老人ホームかくれんぼ 副施設長兼生活相談員 黒田 勝巳 氏	10/23(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアで職員が困る場面を、指導に活かす視点を学ぶ（講義 60 分） ・ 正解を押しつけず、理由を一緒に考える関わり方の習得 ・ 経験に応じた声かけを通じて、チームでケアを高める方法の習得（グループワーク 60 分）

5	<p>「最新の介護技術 排泄・着脱」実技 ～現有能力を活かした介護技術の習得～</p> <p>講師：日本ホームヘルパー協会愛知県支部会長 日本福祉大学社会福祉協議会総合福祉センター兼任講師 社会福祉法人長寿会すまいる研修センター長 荒川 順子 氏</p>	11/27(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・「排泄介助」(実技 60 分) ・尿漏れを防ぎ、動きを妨げないハビリパンツ・紙オムツの着用方法の習得 ・立位、座位を活かした排泄介助について、身体的負担を抑える技術の習得 ・「衣類の着脱介助・排泄介助」(実技 60 分) ・身体と衣類の特性を考えた着替え/らくらく着替え技術
6	<p>「体調変化時の初期対応と医療行為ではない行為」 ～介護職ができる観察・判断・対応の基本～</p> <p>講師：(株)ラディスト 看護師 安藤 ユカリ 氏</p>	12/18(金) ※研修終了後に 閉講式を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職が行える「原則として医療行為ではない行為」の範囲と考え方を整理する ・発熱、呼吸状態・意識変化など、体調変化時の観察ポイントと初期対応を学ぶ ・異常の気づきから、報告・連携につなげる判断と行動の流れを理解する ・介護職が知っておきたい「薬の基本」

※身体介護の実技研修については、男性と女性にグループを分けて実施します。